

葉月を迎えて

分所長 高木敏彦

連日の酷暑の中ですが、体調を崩すことなく十分に気を付けてお過ごしください。さりますようお願ひ申し上げます。

聖師様の誕生を祝う瑞生大祭が今月の7日に催されますが6日は広島原爆被災に始まり9日の長崎被爆と続き、15日の終戦記念日と平和について考えさせられる月です。ウクライナの戦争、ガザ地区での争いと世界中で残念ながら戦争が絶えません。全ての争いごとが終わり平和な世界の到来を祈りましょう。

霊主体従でした？

生田 吉亮

つい先日、碧海支部(高浜)の信徒の方の葬儀に初めて「齋主」としてお手伝いをさせていただきました。

「昇天直後の祭員依頼連絡でしたので、「しぬび」以外の各祝詞内を調整することはできませんでした、祭員としてのお手伝いはそこそこ経験はしていましたが、齋主経験は無く最大の懸念は「しぬび」の作成でした。

齋場と葬家の事前打ち合わせにも加えていただき、喪主様からのエンディングノートをもとに新霊様の経歴は分かり、なんとかなるだろうという思いになれて翌日の招魂式を迎えました。齋場の祭壇設営から装飾品、供物は支部の方々によって肅々と整えられて、余裕を持って事前の葬家への挨拶も済ませての閉式から閉式、

霊璽移動までと終えさせていただきました。

「ここで式の次第報告が無いのは、実は、式後の食事の後、喪主様に再度打ち合わせをお願いして経歴等の確認をしている時に「これは確認されていますよ」と言われた時「あれっ？」と我に返った気になりました。

式典中の記憶がほとんど無く、ちゃんと祝詞を上げたのか、最後の死生観も斉唱したのか？ 思い出せなかつたのです！ 一気に不安が高まって「しぬび」作成へのプレッシャーとなりました。疲労と不安を抱えて帰宅して「しぬび」の下書きの下書きから清書まで、自分の胆の小ささを恥じながらなんとか作成出来て發送式の朝を迎えました。

齋場には早めに入場して霊璽がちゃんと移動できているか確認して、祭員奉仕の蒲生氏と司会奉仕の三浦氏に「自分はちゃんと動いてました？」と聞きましたら「出来てましたよ」と言われ、それまでの不安が一気に解消されて気持ち楽になりました。

緊張で舞い上がっていても司会の発声によって体が動いていた事は、霊が主で体が従っていた？ と自身には都合の良い納得をして、發送式から新霊様の帰宅まで自分の気をしっかり持って納めさせていただくことが出来ました。

このように大変な「齋主」という役目を果たしてきた先輩宣伝使の方々の御苦労と大きさを体感させていただいた一日間でした。帰宅して何気に頭に浮かんで来たのは「涙あふれて 見上げた空のいろ こんなに青いなんて 知らないで生きてた 私のなかの 砂漠に満ちてくる やさしい水のような 愛を今、

信じよう かけがえのない命 どこにあつても 闇の果てまで 響きあう つながつて 限られたこの永遠だけでも あなたに会えたことを、空に感謝します。」

平原綾香の「感謝」の一節でした。 生拝

主な行事予定

8月11日(日) 午後1時半より
碧南分所月次祭 担当第1班
8月17日(土)
直心会・みどり会講習会 きゅうりしゅう油漬
8月18日(日) 午前10時より
三河本苑月次祭・全体会
8月24・25日(土・日)
葬祭研修会 本部講師 加藤道明先生

9月8日(日) 午後1時半より
碧南分所月次祭 担当第2班
9月11日(水)
第22回全国一斉世界平和祈願
9月15日(日) 午前10時より
三河本苑月次祭・敬老会
9月29日(日) 午前10時より 三河本苑
宣伝使・宣伝使になるための研修会

8月の誕生者

おめでとうございます！

澤田 寛 4日 平野さとみ 鈴木啓太 5日 鈴木 久
木穂波 6日 奥谷敦子 8日 角谷明 9日 久
野鉦二 坂野倫子 10日 生田泰之 13日 生
田吉亮 14日 坂部恒彦 19日 大塚康子 藤
浦明仁 22日 服部史紗 23日 鈴木啓誉 飯
田實 24日 生田爽杏 26日 市古順一 江坂
節子 杉浦俊保 杉浦隆太 27日